

# 西建協だより

333号

2022年4月



「西建協だより」では、西多摩の建設業界と深いつながりのある管内の様々な行政機関の方々から機会あるごとに寄稿をしていただいております。令和四年四月一日付で青梅労働基準監督署長に佐藤千恵子様、東京都森林事務所長に龍野功様が着任されました。貴重なご意見をいただきましたので、掲載を致します。

## 着任にあたり

青梅労働基準監督署長 佐藤 千恵子  
「誰もが安心して働き活躍するTOKYOへ」

この度、四月一日付けの人事異動により青梅労働基準監督署長に着任いたしました佐藤でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。西多摩建設業協会及び会員の皆様には、日頃から当署が推進する労働基準行政とりわけ労働安全衛生行政に、格別の御理解と御協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

令和四年度、青梅労働基準監督署では、「誰もが安心して働き活躍するTOKYOへ」を目指し、

①長時間労働の是正及び過重労働による健康障害の防止の徹底

②中小企業及び時間外労働上限規制適用猶予業種を中心とする改正労基法等の周知及び支援

③第13次労働災害防止計画最終年度として労働災害防止対策の取組

④労災保険給付の迅速かつ適正な処理

などを重点課題として取り組んでまいります。特に、②につきましては、令和四年四月一日から「進めよう！ケンセツの働き方改革・TOKYO」をキャッチフレーズに、建設業における働き方改革の取組がスタートしました。平成三十一年から順次スタートしている働き方改革ですが、令和六年四月一日からは、建設業の皆様にも時間外労働の上限規制が適用されることとなりますので、スムーズな導入がで

るよう支援の充実を力を入れてまいります。また、③につきましては、令和4年は第13次東京労働局労働災害防止計画の最終年となっております。青梅管内の建設業における令和三年の死者数は0人となっておりますが、令和三年の死傷者数は36人と前年の27人と比べ約33%の増加し、令和四年においても既に死傷者数2人と前年同期と同数になっていることから、さらに労働災害防止対策の取組強化に努めてまいります。

本年度も、青梅署管内の事業場と労働者の方々が安心して働けるように、青梅署職員一丸となり努力してまいりますので、引き続き、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。最後にになりますが、西多摩建設業協会及び会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。着任の挨拶とさせていただきます。

## 着任にあたり

東京都森林事務所長 龍野 功  
「森林の循環と山地災害の防止」

このたび、四月一日付けで、東京都森林事務所長に着任いたしました龍野です。

西多摩建設業協会の皆様には、日頃から、当事務所の治山・林道事業を中心に、多大なるご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

さて、当事務所は、多摩地域に広がる森林を所管しており、その面積は多摩の総面積の4割以上を占めています。森林は、山地災害の防止、水源のかん養、二酸化炭素の吸収による温暖化防止、木材の供給など、多くの有益な機能を持ち、都民生活に貢献しながら、豊かな生活環境を支えています。こうした機能を十分に発揮させるためには、森林を伐採した跡地に苗木を植えて育てる「森林の循環」と、伐採した木材を様々な用途に無駄なく利用していくことが重要です。しかしながら、木材需要の減少や木材価格の低迷が長期にわたっており、林業経営を行うことが難しい状況が続いています。都は、低迷する林業の振興に向け、森林整備に係る

各種経費を支援するほか、木材生産の基盤となる林道の新規開設、既設林道の改修・高規格化を推進しております。

他方、最近の豪雨は激しさを増し、流木をとまなう大規模な土砂災害が各地で発生しています。都内においては、令和元年に襲来した台風十九号による甚大な被害が記憶に新しいですが、被災した林道や山腹の復旧工事は現在も続いています。

急峻な山々を抱える西多摩地域では、山地災害の発生が心配されることから、地域住民の生命と財産を守り、安心して暮らすことのできる環境を確保することは、当事務所の果たすべき務めであると考えます。斜面崩壊を防止する治山ダムの配置や落石を抑制するネットの設置に加え、豪雨等により流木化する恐れのある倒木の除去等を行うとともに、間伐等により健全な森林の育成を進める林業事業体を後押しするなど、災害に強い森づくりを進め、地域の安全性向上を図ってまいります。

治山・林道事業に関連する工事につきましては、引き続き、早期発注や発注時期の平準化を図り、計画的かつ適切に実施してまいりますので、貴協会の皆様のご支援とご協力をいただけますと幸いです。

結びに、貴協会と会員の皆様のご発展とご健勝を祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

## 「メンター制度」導入 活用事例 報告

「メンター制度」とは所属する上司とは別に、年齢の近い年上の先輩社員や社歴が近い先輩社員が新入社員や若手社員をサポートする制度です。新入社員からすると相談しやすい兄弟が職場にできるようなものです。メリットとしては、社内のコミュニケーションが活発化することがあげられます。メンターを受けた新入社員が次年度の新入社員を教える。またその新入社員がメンターとなりつなげていきます。新入社員や若手の社内での孤立を防ぐ役割や精神的な悩みの解消、またメンターとなった社員が新入社員に見られているという意識から自主的に仕事に取り組む責任感がでるようになります。会社に

とつてもメンター制度があることにより、社員間できいなことでも相談することができるようになります。会社への居心地がよくなります。結果として離職率の低下につながります。

成友興業(株)では令和3年度より「メンター制度」の活用を始めました。ここではメンターをうけたMさんとSさんの二名の新入社員、そのメンターをしたWさんとNさんの社員にお話を聞きました。また、成友興業では女性社員の活用も積極的に進めているのと、併せて女性社員のUさん、Mさんからお話も伺いました。

### ～Mさん(新入社員)～

建築科出身で土木の知識が無かったため、最初はすごく不安でした。しかしメンターのWさんが時には厳しく、時には優しく教えてくれたおかげで成長できました。入社した頃の自分と比べると、色々なことに挑戦できるようになり、自信がつけたいと感じます。

### ～Sさん(新入社員)～

メンターのNさんとは歳が近く色々なことを話せるので、とても頼りになる存在でした。現場が忙しいのにも関わらず、丁寧に教えてくれるのでありがたかったです。まもなく新入社員が入社してくるので、Nさんのように新入社員に寄り添える先輩になりたいです。

### ～Wさん(入社2年目 メンター)～

たくさん先輩方がいる中、私がメンターで良いのかなと思いましたが、任されたからには責任をもって育てようと思えました。自分も分からないことも多く、まだまだ半人前ですが、これからは後輩社員の育成に力を入れていきたいです。

### ～Nさん(入社3年目 メンター)～

現場が忙しく教えるのは大変でしたが、S君が自分を頼りにしてくれるのでその期待に応える為に頑張ろうと思えました。結果的に教える事で自分自身の成長にも繋がります。メンターをやっていると、思ったよりいいです。(2面に続く)



今回、お話を伺いました成友興業(株)社員の皆様

(1面より続き)

～Uさん(入社3年目女性)～

私は入社して2年間は、バックオフィスとして現場を支えるのに注力し、3年目に現場に出るようになりました。現場での知識は現在習得中ですが、先輩社員や協力会社の方々のご指導により、できることも増えてきています。必要とされる場面では女性ならではの視点を生かした細やかな配慮をしたいと考えています。

～Mさん(入社2年目女性)～

入社して2年目から、Uさんが現場にも出るようになり、今まではマンツーマンで教えてもらいながらしていた仕事を1人で行うようになりました。しかし、結婚を機に在宅ワークをしている先輩がいたので、分からない事があっても聞く事が出来たのでとても心強かったです。

ライフステージの変化があってもフルリモートや時短勤務の実施、時間単位の有給取得制度の導入などにより、女性でもキャリアアップが望める環境が整っていると感じています。現在の建設業では、力仕事だけでなく、ドローンによる測量や3次元データを用いるなどDX化が進んでいる為、女性でも現場で活躍できる場が増えていきます。いつかこの記事を読んだ学生が就職する頃には、より最先端のものを取り入れDX化が進み、さらに働きやすい環境が整っているのではないのでしょうか。

～成友興業より一言～

成友興業(株)も十年ほど前より本格的に新卒採用を行って来ましたが、当初は離職率の高さに苦慮しましたが、「今までと同じやり方」を「今までとは違う」にする事を管理者側が理解し指導教育方法なども色々と工夫しながら現在に至り、昨年度入職者には離職者が出来ませんでした。都市インフラの更新や災害対応などの地域貢献を担う人材を育成していく事が使命でもあり業界の未来につながる事と確信しています。

### 日建学院青梅認定校◇資格検定講座合格者の声

日建学院による「土木施工管理技士(一級・二級)建設施工管理技士(一級・二級)宅地建物取引士などの資格検定講座を実施しております。ここでは令和3年度の講座の成果の一つである合格者の方々を代表して3名の方の声を頂きましたので掲載いたします。

なお、講座受講などの詳細については左下の連絡先までご連絡ください。

Oさん 29歳(岩浪建設株式会社 所属)

取得資格 取得資格 一級土木施工管理技士

資格取得の為にを行った勉強方法、試験時に苦労した点

試験に向けての自身の勉強方法は、苦手な項目や不明な部分に対する反復勉強です。一度、全項目を勉強してから自分は何が苦手か、どの部分が分からないのかを把握し、その項目を中心に勉強しました。試験時に苦労した点としては、二次試験の経験記述問題において試験前に想定していた内容を改めて文章におこすことでした。

資格取得に伴うこれからの建設業務に対する意気込み、または抱負

これからの抱負としては、長く残る建設物の工事に携わる人間として一層努力しようと思えます。

Sさん 26歳(岩浪建設株式会社 所属)

取得資格 取得資格 一級土木施工管理技士

資格取得の為にを行った勉強方法、試験時に苦労した点

私は、試験勉強をしている時、水道管の布設替え工事に従事していました。仕事と勉強の両立はとて難しく、最初はなかなか勉強をする時間がありませんでしたが、絶対に一発合格するぞという気持ちで毎日最低一時間勉強をするルールを自分で決めて勉強をしていました。勉強方法は、日建学院の問題集をひたすら解き、教科書に載っている試験の名称や試験結果から求められるもの等完璧に覚えられるまで何度も読み返しました。二次試験では、経験記述の作文を3枚(品質・安全・工程)作り、毎日各一枚ずつ書いて覚えました。

資格取得に伴うこれからの建設業務に対する意気込み、または抱負

一級土木施工管理技士を取得したことで、やっとスタートラインに立てたと思います。これからも日々勉強をして、一人前の現場監督になれるよう、努力していきたいと思えます。

Sさん 31歳(佐久間建設株式会社 所属)

取得資格 取得資格 一級土木施工管理技士

資格取得の為にを行った勉強方法、試験時に苦労した点

毎週日曜日に、日建学院の問題集を行い、平日は短時間でも必ずテキストを読んだ。経験記述は、実際に書いて時間を計測して書いた。また先輩社員に経験記述を見せてアドバイスをもらった。試験では、緊張してしまっているので、深呼吸をして落ち着いて臨んだ。

資格取得に伴うこれからの建設業務に対する意気込み、または抱負

責任ある立場で仕事をやる機会が増えてくると思うので、仕事は緊張感を持ち行っていくたい。また、先輩ができてくると思うので、教える立場になることが多くなってくると思うので、教えられるように自分でも必要な知識をつけていきたい。

### ～建設系廃棄物マニフェスト等販売について～

従前より建設系マニフェスト伝票、建設廃棄物処理委託契約書の販売をしておりますが、このたび事務局体制の変更に伴い、職員の不在により販売が出来ない場合がございます。そこで、購買のため御来所の際には事前に電話等で下記までご連絡をいただくようお願いいたします。

誠に勝手ではございますがご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

取扱い書類

1. 建設系マニフェスト伝票
2. 建設廃棄物処理委託契約書

連絡先

西多摩建設業協同組合 事務局

電話 0428-22-6245 (平日 9:00~17:00)

### ◇あ と が き ◇

新型コロナウイルスとの付き合いも早3年目となってしまいましたが、今年も桜の花が散る中、4月からは新年度を迎え新緑の美しい季節が始まりました。

海外ではロシアによるウクライナ侵攻が続いています。終息には程遠く、残酷な出来事を日々ニュースで見るたびに心を痛めている人も多いのではないのでしょうか。

日本の対ロシア制裁の影響が国内の建設業界にも少しずつ出てくるかと思いますが、世界の平和を願いつつ、安全第一で更に頑張っていきたいと思います。

～広報委員会～

◇青梅校での開講講座  
詳細は随時ご説明致します。  
下記までお問い合わせ下さい。

青梅認定校(西建協)  
0428-22-6245  
石川

日建学院立川校  
担当: 高橋かおり  
090-4171-6169



日建学院青梅校 資格検定講座